

へぐり 議会だより

第223号
発行・編集
奈良県生駒郡平群町
平群町議会
議会だより編集委員会
議会事務局
Tel・Fax 0745(45)0012
gikai@town.heguri.nara.jp



9月30日に行われた平城遷都1300年祭記念の白虎除幕式会場で

NPO法人信貴山観光協会田中理事長と地元のイメージキャラクター左側より、しぎとらくん、せんとくん、長屋くん、左近くん

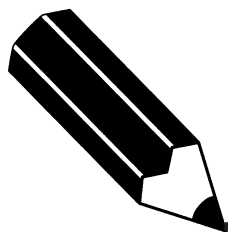
2010年は、「平城遷都1300年祭」として、県内4カ所で「四神」を象徴したイベントが盛大に行われます。四神伝説では西方の守護神は白虎とされ、信貴山地域が県西方に位置し、また信貴山朝護孫子寺は寅にゆかりのあることから白虎が設置されました。

目 次

第5回臨時会・第6回定例会

こんなことが決まりました	2～6
決算審査特別委員会委員長報告	7～9
一般質問 質問&答弁	10～15
委員会活動状況、議会のうごき	16

第5回臨時会・第6回定例会



こんなことが決まりました

平成21年第5回臨時会が7月21日に開催され、町長より平成21年度一般会計補正予算案の提出を受け審議の結果、原案どおり可決されました。

第6回定例会は9月8日から18日まで、11日間の会期で開催されました。

初日、町長より提出の国民健康保険条例の一部改正案他19議案が上程され、審議の結果、平成20年度一般会計・各特別会計決算の認定案件を除く全ての議案が即日全会一致で原案可決され、決算の認定案件は、7名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置して付託しました。

一般質問は15日に行われ、12名の議員が町政全般にわたり質問しました。

最終日の18日は、会期中開催された決算審査特別委員会の審議結果による委員長報告を受け、報告のとおり原案を認定しました。

議員提出議案2件が提出され、意見書は原案を可決し関係行政庁に送付することに決定しました。また議会議規則の一部改正案も全会一致で原案を可決しました。

以上で本定例会に付議された議案は全て終了し閉会しました。

第5回臨時会 議事結果

議 案 名	結 果
平成21年度平群町一般会計補正予算（第3号）について	原案可決（全会一致）

補正予算

平成21年度平群町一般会計補正予算（第3号）について

歳出で主なものは、移動系防災行政無線デジタル移行工事、かしのき荘の空調整備等、はなさと保育園の施設備品の修繕、清掃センターの補修工事、緑ヶ丘の歩道等修繕工事、幼稚園、小・中学校の修繕、教材、パソコン購入、情報教育設備の整備、小・中学校・公民館の地デジTV、中学校の太陽光パネル設置、電子黒板、防災行政無線デジタル化等の予算措置を行うものです。

歳入で主なものは、安心・安全な学校づくり・ICT環境整備及び学校情報通信技術環境整備事業費国庫補助金及び、地域活性化・経済危機対策等臨時交付金並びに、防災行政無線整備等の各事業債の予算措置を行うものです。

その結果、2億6,584万1千円を追加し、歳入歳出予算総額は71億2,290万5千円となりました。

第6回定例会 議事結果

第6回定例会（9月）より各議員の賛否一覧表を掲載することになりました。

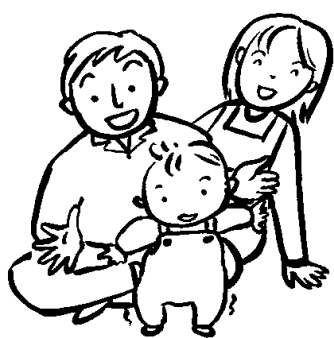
○は賛成 ●は反対で表示（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

議 案 名	議決結果	表決数	戎井 政弘	土井 重尋	岡 嘉道	森田 勝	植田 いずみ	山口 昌亮	奥田 幸男	山田 仁樹	高幣 幸生	窪 和子	池田 研二	繁田 智子	下中 一郎	馬本 隆夫
平群町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成21年度平群町一般会計補正予算（第4号）について	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成21年度平群町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成21年度平群町老人保健特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成21年度平群町水道事業会計補正予算（第1号）について	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成21年度平群町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成21年度平群町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成21年度平群町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷町下水処理施設を本町住民の利用に供することについて	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成20年度平群町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	賛成多数 9：4	○	○	○	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	
平成20年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成20年度平群町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	賛成多数 9：4	○	○	○	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	
平成20年度平群町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長は採決に加わりません

議 案 名	議決結果	表決数	戎井 政弘	土井 重尋	岡 嘉道	森田 勝	植田 いずみ	山口 昌亮	奥田 幸男	山田 仁樹	高幣 幸生	窪 和子	池田 研二	繁田 智子	下中 一郎	馬本 隆夫
平成20年度平群町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成20年度平群町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成20年度平群町学校給食費特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成20年度平群町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成20年度平群町奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成20年度平群町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成20年度平群町用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
「気候保護法(仮称)」の制定を求める意見書	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平群町議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長は採決に加わりません



国民健康保険法施行令の改正に伴い、出産に係る経済的負担を軽減するため出産育児一時金の支給額を平成21年10月1日から平成23年3月31日までの出産について35万円から39万円に引き上げる改正をするものです。

条 例

平群町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

補正予算

平成21年度平群町一般会計補正予算(第4号)について

歳出の主なものは、

平成21年度人事院勧告に伴う給与条例の改正による職員人件費で約1千600万円の減額措置と併せて、人事異動等に係る人件費の調整、さらに国・県の各補正予算による補助金等を活用し、本町の現状を考え各種施設整備や町民サービス等を主とした予算措置を行うものです。

詳細については、総務、会計面では公用車の入れ替え費用の予算措置を行い、財務会計システムのカスタマイズ費として電算委託料の増額、プリズムへぐりの修繕箇所の追加に伴う修繕料の増額を行うものです。

町民の健康と安全・安心面では、中央公民館大ホー



中央公民館大ホール天井のアスベスト除去工事

ル、西小学校プール施設、南保育園機械室の施設で、労働安全衛生法施行令の改正後の基準値を上回るアスベスト含有量が検知されたためアスベスト除去に要する予算措置を行うものです。

さらに子育て応援特別手当交付事業実施に要する経費、女性特有のがん検診推進事業の実施に要する経費の予算措置を行うものです。

住環境面では、緊急雇用創出事業として不法投棄防止等に係る事業実施に要する経費、耐震ハザードマップ作成費用の予算措置を行うものです。

文化面では、中央公民館の老朽化に伴う施設の維持補修及び備品購入経費の予算措置を行うものです。

体育面では北公園テニスコートの人工芝部分の張替、ウォーターパークの濾材入替、総合スポーツセンタートレーニング機器整備増設等、各体育施設の維持補修に要する経費の予算措置を行うものです。

通信情報の町づくりの面では、今後の課題である地上デジタル放送に伴う環境整備補助として久安寺地区テレビ放送難視聴地域に対する補助金の予算措置を行う

うものです。そのほか建築物耐震改修補助金や道路改良等の予算措置を行うものです。

歳入で主なものは、

国・県からの今年度算定額の確定に伴い地方特例交付金、特別交付金、普通交付金及び補助金、臨時財政対策債の予算及び調整措置をそれぞれ行うものです。

歳入の詳細は国の緊急地域雇用創出特別交付金事業費県補助金、子育て応援特別手当交付事業国庫補助金、疾病予防対策事業等国庫補助金、住宅・建築物耐震改修国庫補助金、地方道路事業費国庫補助金、他に地域活性化・経済危機対策臨時交付金の予算未計上額の措置を行うものです。

さらにテレビ放送難視聴地域に対する電波遮へい対策事業費等国庫補助金の予算措置を行い、県補助金では、事業採択に伴う緊急地域雇用創出特別交付金事業費県補助金の予算措置を行

うものです。雑入では、過年度収入で平成20年度給付実績に伴う福祉医療費県補助金過年度収入の調整措置を行うものです。

町債では、アスベスト除去費用に係る石綿対策事業債等の予算措置を行うものです。

その結果、6,952万8千円を追加し、歳入歳出予算総額は71億9,243万3千円となります。

平成21年度平群町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

平成21年度の人事院勧告に伴う調整で人件費等の減額と保険給付費で制度改正による高額療養費特別支給金の予算措置を行うものです。その結果、4,966万4千円を増額し歳入歳出予算総額が24億3,366万4千円となります。

平成21年度平群町老人保健特別会計補正予算（第1号）について

平成20年度の精算により支払基金医療費交付、県負担金の償還金の増額を行うものです。4,010千円を増額し歳入歳出予算総額が1,706万8千円となります。

平成21年度平群町水道事業会計補正予算（第1号）について

平成21年度の人事院勧告に伴う調整で人件費等の減額で収益的支出の総係費を509千円減額となります。

平成21年度平群町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について

平成21年度の人事院勧告に伴う調整で、人件費等で398千円を減額し歳入歳

出予算総額が4億2,740万2千円となります。

平成21年度平群町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について

平成21年度の人事院勧告に伴う調整で、人件費等で8万4千円を減額し歳入歳出予算総額が3,741万6千円となります。

平成21年度平群町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

保険事業勘定では人員増と平成21年度の人事院勧告に伴う調整で、人件費等で6万4千円を減額、サービス勘定ではサーバーおよびパソコン入れ替えの予算措置を行うものです。その結果、保健事業勘定では、歳入歳出予算総額が11億5,970万8千円、サービス事業勘定では、歳入歳出予算総額1,130万5千円となります。

三郷町下水処理施設を本町住民の利用に供することについて

三郷町下水処理施設を本町信貴山地区(信貴観光iセンター)が利用を供するための議決を行いました。



信貴山観光iセンター
完成予想図

議員提出議案

「気候保護法(仮称)」の制定を求める意見書(案)

提出者 植田いずみ
賛成者 山口 昌亮

原案可決(全会一致)

平群町議会会議規則の一部を改正する規則について

提出者 池田 研二
賛成者 窪 和子

提出理由

議会の調査機能や議員研修の充実が求められており、地方自治法で議員の派遣の規定が創設されたことにより、「議会は会議規則の定めるところにより、議員を派遣できる」と規定していることから、会議規則で明確化するため改正するものです。

原案可決(全会一致)

請願書・陳情書の提出方法について

◇請願とは

町民が議会に対して自らの意見や願いを文書にして議会に提出することができま。このような文書を請願書といいます。請願権は国民の基本的権利の一つとして保障されています。

○請願書の提出方法

請願の趣旨と、提出者の住所、氏名、電話番号及び提出日を記入して、押印してください。

また、その請願を紹介する議員(1人以上)の署名または記名押印が必要です。

提出者が複数のときは、代表者を決め、その旨明記してください。審議の結果は代表者に送付します。

請願書を提出するには、議員の紹介が必要です。

◇陳情とは

請願と同様に議会に対しなんらかの要望をする行為ですが、法的根拠を持たな



付託議案

決算審査特別委員会委員長報告



委員長 池田 研二

去る9月8日に開催され

ました平群町議会第6回定例会の本会議において付託を受けた、平成20年度平群町一般会計並びに各特別会計歳入歳出決算の認定11件について、本委員会での審議の内容と結果を報告します。

認定第2号 平成20年度平群町一般会計歳入歳出決算の認定について

決算認定の審議に当たっては、歳出は款ごとに、歳入は一括して審議しました。審議の主な内容は以下のとおりです。

《議会費・総務費》

自治振興費について、大字自治会育成交付金は自治会によって使途が明確にされていない場合があり、自治会活動の推進に要する費用に対して支払うように見直すべきと質され、現状としては、各自治会活動の状況及び費用等の把握は出来ないため、要綱に基づいて交付しているとの答弁がありました。

《民生費》

老人福祉費の介護保険サービス利用等軽減費が半分以上不用額になっているが、対象者が減ったのか、

サービスが減ったのかと質され、サービス利用が極端に少なくなったのではなく、予算作成時に1番多く利用された数字で見積をしたので、結果として決算の数字となった旨の答弁がありました。

緊急通報装置設置について1人暮らしの高齢者の対象者数と現在設置している台数は幾らか、また老老介護にどのような対策を考えているかとの質問に、65歳以上の1人暮らしの高齢者は約600人、設置台数は約160台で現在使われているのが76台で、今後、老介護の実態調査やGPS機能付き等要綱改正も含めて検討をしたい旨の答弁がありました。

《農林水産業費・商工費・土木費・消防費》

住宅管理費の測量設計委託料で不用額が6万8千円出ているが、浴槽設備設置

実施状況について質問があり、不用額は工事に係る測量設計委託料の入札差金で、町営住宅と改良住宅の浴槽設置は20年度12戸、1戸当たり86万2,137円という単価で実施したとの答弁がありました。

《教育費》

事務局費の補充講師賃金の不用額110万円出ているがその実情について質され、短期の病休代替えと県費の先生が配置されなくなった場合のスクールカウンセラー費用が不用になった旨の答弁がありました。

保健体育総務費の維持補修工事の内容について質され、ウォータパークの残留塩素測定器のオーバホール6台分126万円、ウォータパーク子どもプール床の補修42万円、北公園テニスコート維持補修工事12万4千円、スポーツセンターテニスコートBの改修工事が

192万4千円であるとの答弁がありました。

《災害復旧費、公債費、前年度繰上充用金、予備費》

公債費償還見通しについて、平成26年度まで10億を超える大きな額を毎年償還しなければならぬ。地方財政がより好転するような国の施策を要望や陳情すべきではと質され、償還見通しには駅周辺整備事業と下水道事業が入っている。行政だけでなく議員各位の力も借りながら今後の財政基盤強化や新しい町づくりに努めたい旨の答弁がありました。

《歳入全般》

20年度で不納欠損処理をした経過を質され、破産または競売事件等で不動産が無くなった方、無財産あるいは生活の困窮者、居所不明等で滞納処分執行停止をした事案に対し、財産調

査する中で不納欠損処理を進めていると答弁がありました。

幼稚園の延長保育について、その利用料収入と利用実績を質されて、諸収入の雑入に幼稚園預かり保育料として52万4,750円があり、実績は10名から15名程度で、夏休み期間中は20名程度に増えるとの答弁がありました。

討論では

予算でも理由を挙げ反対したが今回の決算については、その予算を基に執行されたものであり、地方交付税の増額や交付金等の措置などと相まって、単年度収支で約1億6,815万円の黒字となっている。このことから住民負担増、福祉切り捨てを一行う必要は無かったと考えられることから、20年度の決算については賛成できない旨の討論がありました。

一方、奈良県下でも、御

所市や上牧町が平成20年度の決算で新たに早期健全化団体に陥ることが明らかに、町では、そういう事態を避けるため一丸となって頑張った結果が今回の黒字である。今後、更に努力を重ねて財政健全化に努め、固定資産税の税率が元に戻るよう期待も込めて賛成をしたい旨の討論がありました。

採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定いたしました。

認定第3号 平成20年度平

群町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

全員異議なく認定すべきものと決定いたしました。

認定第4号 平成20年度平

群町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

て

特定健診について、対象者、受診者が何人か、年齢層で特徴的なものが出てくるか、また、人間ドッグの20年度の状況を質され、特定健診の受診対象者4,323人、受診者1,350人、受診率31・2%、また、年齢別で40歳から49歳は対象者467名で受診率15・4%、50歳から59歳は対象者661名で20・1%、60歳から69歳は対象者2,167名で32・6%、70歳から74歳は対象者1,028人で、42・6%となっている。20年度の間ドッグの件数は207件であると答弁がありました。

討論では

今回の決算では4千万円を超える黒字、単年度では1億1,800万円もの黒字になり、町当局は否定しているが、後期高齢者医療制度の導入に便乗した国保

税の増税であることは明白である。また、支援金についての歳出はこれまでの説明通り満額支出しているにもかかわらず、歳入では国・県が50%の負担にほど遠い状況でしかない。このことから見ても、国の制度変更で国保税を増税する必要はなかったと指摘してきたことは正しかったことを示している。

よって、本決算の認定については賛成できない旨の討論がありました。

一方、20年度の国保会計は、制度の変更に伴う保険税の改定だと認識している。政府が制度を変えたのに合わせ、実務を司る地方自治体が収支のバランスを考慮した上での制度設計を行ったもので、各自治体によつて高齢者の比率も医療費の実態も異なり、他の自治体と同列ではない。このように設計された当町の国保会計が20年度の決算の結

果、4千万円強の黒字となり、制度設計が妥当であったということを示している。国民皆保険制度を維持していくために、本決算について認定すべき旨の討論がありました。

採決の結果、賛成多数により認定すべきものと決定いたしました。

認定第5号 平成20年度平

群町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について

全員異議なく認定することに決定いたしました。

認定第6号 平成20年度平

群町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

全員異議なく認定することに決定いたしました。

認定第7号 平成20年度平
群町農業集落排水事業特別
会計歳入歳出決算の認定に
ついて

全員異議なく認定するこ
とに決定いたしました。

認定第8号 平成20年度平
群町学校給食費特別会計歳
入歳出決算の認定について

全員異議なく認定するこ
とに決定いたしました。

認定第9号 平成20年度平
群町介護保険事業特別会計
歳入歳出決算の認定につ
いて

施設介護サービスの給付
費で、不用額が約4千万円
出ているが、予算と決算の
段階では変化があったのか
質され、介護サービスの19
年度利用状況を見ながら、
高齢化ということと数
を10%プラスして作成した。

20年度と19年度のサービス
利用延べ数は、ほぼ同数で
あると答弁がありました。

全員異議なく認定するこ
とに決定いたしました。

認定第10号 平成20年度平
群町奨学資金貸付事業特別
会計歳入歳出決算の認定に
ついて

全員異議なく認定するこ
とに決定いたしました。

認定第11号 平成20年度平
群町後期高齢者医療特別会
計歳入歳出決算の認定につ
いて

全員異議なく認定するこ
とに決定いたしました。



平成20年度 一般会計・特別会計決算

(△はマイナス 単位：円)

会 計 区 分		歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰 り越す財源	実質収支額
一 般 会 計		5,814,429,394	6,148,688,275	△334,258,881	17,056,000	△351,314,881
特 別 会 計	住宅新築資金等貸付事業	70,834,838	96,255,374	△25,420,536	0	△25,420,536
	国 民 健 康 保 険	2,213,137,753	2,172,732,156	40,405,597	0	40,405,597
	老 人 保 健	235,505,809	231,673,584	3,832,225	0	3,832,225
	下 水 道 事 業	521,674,117	507,695,196	13,978,921	7,962,000	6,016,921
	農 業 集 落 排 水 事 業	32,686,145	32,686,145	0	0	0
	学 校 給 食 費	72,554,027	72,356,474	197,553	0	197,553
	介 護 保 険 (保 険 事 業 勘 定)	1,109,487,959	1,065,478,154	44,009,805	0	44,009,805
	介 護 保 険 (介護サービス事業勘定)	12,388,324	7,578,218	4,810,106	0	4,810,106
	奨 学 資 金 貸 付 事 業	654,330	654,330	0	0	0
	後 期 高 齢 者 医 療	211,406,069	210,368,569	1,037,500	0	1,037,500
	用 地 先 行 取 得 事 業	678,373,236	678,373,236	0	0	0

第6回定例会(9月) 一般質問

質 問

平群町榎原

「農地改良事業」について



岡 嘉道

質 問

①全員協議会で提出を求めた営農計画書の提出はあったのか

営農計画書が未提出の段階で、平群町は、事業目的である農地改良事業の妥当性を何を以て判断されるのか、その根拠をお聞かせ下さい。

②周辺自治会の合意は得られたのですか。

21年6月20日榎台と榎原自治会との説明会が持たれましたが、その際の資料提供、説明は甚だ不十分であり、

まともな説明会ではありませんでした。

町は一体どんな指導をされているのですか。

③工事終了後、工事の影響と思われる汚染が確認された場合は、事業主において解決すると回答しているが、その資金力はあるのか。

④事業主体については、地縁団体設立の主旨に疑問が残るので再検討を指示されていますが、表面だけ辻褄を合わせた回答があった場合、町はこれを認めるおつもりですか。

答 弁

①営農計画書は未提出のままであり、町とし

ても農地改良事業の妥当性を判断できない状況であり、提出を待って、県の関係部とも連携し慎重に対処したい。

②一回目の説明会は終了した。二回目は一回目の要望事項の整理と営農計画書が完成次第早急に実施するよう指導中。

③財務諸表の提出を待つて検討する。具体策は協定書に記載し法的拘束力を持たせる。

④今のところ、変更の回答は無いが、認めるか否かは、県の事業認可を待つて専門家とも相談の上対処する。



町道鳴川路線

質 問

小学校「統廃合」

町教委の見解を問う



山口 昌亮

質 問

町長の諮問機関「小学校再編成検討委員会」が6月に、現在の4小学校を2校に統廃合するなどとした答申をしたことについて

①今後のスケジュールはどうなっているのか
②答申が「35人学級が望ましい」としていることにたいして教育委員会はどうのように考えているのか

③「2校への統廃合は教育環境の悪化につながる」など、2月の住民報告会などで出された、保護者や地域住民の反対や不安について

て、教育委員会の見解はどうか。

答 弁

今後のスケジュールについては、現在、答申を吟味している段階。今後、再編成の一定のプランが示せる状況になれば、条例にもとづき学校等整備計画審議会を組織して調査研究をすすめていきたい。

少人数編成の良さは共感しているが、10数名という小規模な学級では問題があり、学級には一定の集団の大きさが必要と考えている。また、30人学級で、答申どおり2校にした場合、11名の教師を町で雇用しなければならず、財政的保障が必要

になる。

保護者や地域住民の反対や不安の声にたいしては、3校にした場合、近年中に再度編成をしなければならぬ可能性があることから検討委員会の結論にそって作業をすすめる。基本的には住民の合意形成に努力してすすめていきたい。



質 問

土砂災害から住民を守るまちづくりについて



森田 勝

質 問

今年も台風やゲリラ豪雨によって、尊い人命が奪われ家屋が全半壊する等、甚大な被害が全国で発生している。

本町は、矢田山丘陵と生駒山系に挟まれた平群谷であることから、土砂災害が町の何処で発生してもおかしくない。

今年、土砂災害で大きな被害を受けた佐用町では、1ヶ月経っても住民は自宅の再建に目途がたたず、健康や将来に不安を訴えている。

土砂災害等から住民の生命と財産を守るため、本町の土砂災害

防止対策は？

答 弁

①町の土砂災害警報区域は6月30日現在98箇所（久安寺、信貴山、福貴畑、鳴川、櫟原、緑ヶ丘、椿井）指定されている。特別警戒区域の指定は警戒区域の指定後になる予定。

②土砂災害警報、避難勧告の発表は奈良気象台からの防災FAXが町担当に届き、パトロールや状況を見極め災害発生や発生の恐れがある時は、町長は避難勧告を発表する。

住民へは、防災行政無線放送、町広報車による放送、自治会長への伝達等で住民に周知を図る。

③町内における自主防災組織は3つの分団で構成される町消防団を中心に西山間部で6自警団、自治会活動で3

つの自主防災組織が組織化されている。組織拡大が今後の課題である。

④万が一災害が発生した場合は、職員初動マニュアルに基づき被災箇所の把握を行い、町独自で対応出来るものは即座に仮復旧を行なう。また広範囲にまたがる場合や規模が大きいものについては、県や関係機関への応援要請を行なう。



砂防堰堤（えんてい）

その他の質問項目

- ①企業誘致の進捗状況
- ②観光資源としての遺跡の整備

質 問 (1)

地球温暖化対策について



池田 研二

質 問

①住宅用ソーラーパネル設置の補助制度について、国の補助金（1KW7万円）以外に普及促進をめざすために町独自の補助金を出してはどうか

②実行計画策定のため全庁的体制作りを！

答 弁

①について、現時点では財政が厳しく町独自の補助金は出せない。今後の市町村や新政権の動向を見守りたい。

②について、庁舎内の



CO₂削減計画策定のために、温暖化対策推進委員会を近々に立ち上げ、町長をトップとした本部会議を設置する予定である。

③について「実行計画」を策定し、町の方針を確定し次の段階として取り組みたい。準備会の話し合いは検討したい。

質問 (2)
「農園天国」による農地造成事業について

質 問

- ①事業概要は？
- ②議会への報告は？
- ③安全等の担保は？

答 弁

①樺原トンネル南400mの広域農道沿の工事で、概要は盛土による農地造成、面積は9,773㎡、工事期間は3年間、搬入土量は4万1千㎡、ダンプカーの台数は1日平均5台6往復である。

②議会報告は1ha以上の場合で、今回は1ha未満で報告は不要。

③土地埋立等審議会に諮問し答申を頂き、事業主と事前協議書を締結し、法律遵守を確約しているので安全性は担保されている。

質 問

N銀行南側に信号機設置と

線引き見直しによる当地区発展



奥田 幸男

質 問

以前にもN銀行交差点に信号機設置と三里大井出線までの道路拡幅の要望をお願いしたが、その後どのように進展したのかお尋ねします。三里、下垣内地区内バイパス沿道にはスーパー、ガソリンスタンド、食堂等色々な店舗が出来て人の往来や、交通量も日増しに増し、交通事故が何時発生してもおかしくない状態になっています。

この場所は、信号機が将来必要になって来る事を予測して、下垣内総代や土地所有者の

答 弁

力を得て、西側に信号機設置に必要な道路幅員を6・5メートルに拡幅して頂き、N銀行にも拡幅の協力を頂いたと聞いております。また、N銀行南側に隣接する地区は、間もなく都市計画の事業認可も決定され、様々な店舗が出来る様に聞いています。線引きの進捗状況はどうなっているのかお尋ねします。

土地利用などで道路事情が変わり、信号機の設置基準に合う状況となれば要望します。現在、県において変更の作業中であり、スケジュールとしては今後、国や関係機関との協議を経て当初の予定



どおり平成22年度を目途に決定の予定である。線引きが決定される。具体的に土地利用計画(開発計画)が表明された段階で、開発事前協議の中、事業主に対し協力を要請し、開発計画に併せて道路の拡幅をお願いするというのも一つの手法である。本区域は沿道サービスゾーンと位置づけ、沿道機能を生かした生活関連サービス施設を立地誘導いたします。

質 問 (1)

社会福祉協議会に対する

補助金のあり方について



繁田 智子

質 問

平群町社会福祉協議会への運営補助金が、年度によって、大きな変動がある。平成19年度では予算ベースで1760万円、20年度ではゼロ、今年度予算では480万円である。

社会福祉協議会では、地域社会に密着したきめ細かい福祉事業やボランティア活動を通して地域に貢献している。必要な資金はきちんと予算化すべき。

答 弁

社会福祉協議会では民生児童委員の事務局

として活動をサポートしたり、ボランティアのコーディネート、災害時の救援活動など、地域福祉のためのさまざまな活動を行っている。自主財源の確保に努めていただけでなく、町としても事業内容を精査し、協議をしながら、安定的、継続的に活動ができるように、財源的な援助を考えていきたい。

質 問 (2)

広域避難所の整備について

質 問

平群町防災計画によれば、4小学校区ごとに防災地区を決めて、それぞれに広域避難所を整備すると共に、規模に応じた資機材や食糧の備蓄、情報連絡体制の整備に努めるとある。しかし、トイレ設備や救護設備などは整備できているとは言えない。整備計画はどうなっているのか

答 弁

仮設トイレの設置や物資の提供など、企業と協定書を締結して確保するようにしている。公園の利用については、近隣住民や警察、自主防災組織などと協力して今後検討していく。



質 問

地域産業の振興について



下中 一郎

質 問

本町の商工業は、家庭経営の小売店や家内工業的な工場が中心であるが、住宅開発や交通体系の整備とともに、多くは外部資本の進出である中、大型の店舗が出店され、一定の商業地を形成しつつあります。近年は、国道168号バイパスの沿道部に、多種多様な店舗が進出し、周辺地域はにぎわっているところですが、

しかしながら、今まで平群町の地域経済を支えてこられた地元業者が新しく進出され

答 弁

地域密着型の小売店の役割や、大型店での利便性など、おのずと消費者ニーズに合った住み分けがあり、町内消費者が町外に出向かなくても快適に生活でき、町内の新旧商工業者が潤おうような商業環境を形成していくことが町の活性化につながり、平群駅周辺整備事業では、平群駅前線の沿線に商店街を集中させ、消費者の日常の利便性を図るとともに、イベント等に合わせた販売促進活動など、地域の賑わいの創出の取り組みを考えています。



質 問

財政指数の改善について



土井 重尋

質 問

財政力指数、経常収支比率、実質公債比率、赤字比率等の各財政指標の改善について。

答 弁

財政力指数については、地方公共団体の財政力を示す客観的な指標として用いられる。

この指数が1に近いほど財源に余裕のある団体とされているが、本町の場合は、平成18年度0・516、平成19年度0・555、平成20年度0・569と少しずつ好転はしているが、実態としては、

実質公債比率については、公債費の償還や特別会計に対する繰出金で起債の償還に充てられたものを含めた実質的な町債の償還の負担を表す指標である。

本町の平成20年度の実質公債比率は11・2％で若干改善が見られる。

赤字比率は平成20年度決算では、実質赤字比率は8・8％、連結実質赤字比率はゼロで、平成19年度に比べ改善されている。

本町の財政状況は悪化しており、財政力指数の推移とは異なる結果である。この指標が示している通り、本町の財源は半分近くが地方交付税等の依存財産に頼っている状況であり、財政的にも町税や使用料等の自主財源の確保が必要である。

次に経常収支比率とは、町税等の一般財源を人件費や扶助費、公債費等の経常的に支出しているかを見ることが財政の柔軟性を判断する。本町の経常収支比率は平成18年度94・6％、平成19年度99・2％、平成20年度決算では96％と推移しており、硬直化した厳しい財政状況である。



質問 (1)

中央公民館は
何年頃に新築するか

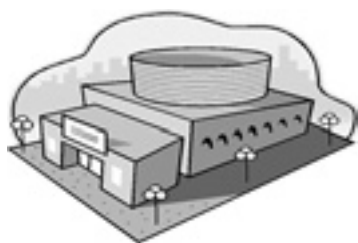
高幣 幸生

質問

地域コミュニティの最大の機能を持つのは中央公民館です。その新築計画はどうなっているか。7月の議会答弁でも明確な回答がなかった。そこで具体的に何年頃に新築するか。公民館は昭和47年完工、37年を経過し、当時は最近代的で自慢の公民館でしたが老朽化している。

今秋の改修が決定し期待するが抜本的改修ではなくトイレや障害者対応等の不満が残る。他町公民館とは比較できない。外装や天

井の汚れ、部屋のスペース、利便性の不調和です。しかし、立地は町の中心地で利便性は最良です。10年。20年後を考え、新築ビジョンが必要です。さらに役場本庁舎も同様です。



答弁

公民館は古い施設で、今秋出来る限り改善の工事を予定している。しかし大規模改造か新築かは未定である。今、公共施設の整備計画の作成が予定さ

れている。

再答弁

8月に公民館を含む施設の年次計画を立案するよう指示をした。早い機会に計画を公開したい。

質問 (2)
職員の採用方針と
正職員と臨時職員
の比率について

質問

役場は臨職に頼る傾向で、職員の4人に1人が臨職で一定の行政サービスに欠如しないか。今後の人事、採用方針を尋ねます。

答弁

今後、行革に基づき定数を目標年度まで削減する。組織の点検や業務の効率化を進め民間委託も考えサービスの質の低下を避ける。

質問

小中一貫教育の
取り組みについて

窪 和子

質問

今、社会環境も大きく急激に変化し、子ども達の学力低下をはじめ、核家族化、地域コミュニティの希薄化による家庭や地域の教育力の低下、「中一ギャップ」やいじめ・不登校の問題など教育課題が山積みしております。

こうした課題を解決し、子どもたちの資質や能力・適性などを十分に引き出すため、「小中一貫・小中連携」という小中学校間での情報交換や児童・生徒・教員間の交流活動

が、盛んに行われています。そこで、お尋ねいたします。

①本町における学校教育の課題について
②「開かれた学校づくり」に対する認識と、学校のご努力について
③本町でも「小中一貫・小中連携教育」に取り組むべきでは

答弁

①特別支援の充実、確かな学力の育成、不登校の問題です。他には、ふるさとを誇りに思える教育、食育、安全教育、キャリア教育、英語教育の充実です。
②学校が、保護者や地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携・協力して教育活動を展開する事と認識しており

ます。具体的には学校新聞などの情報発信、学校評議員制度の活用、学校サポーター体制の構築を図っています。

③小中の連携は、学びの連続性を考慮した学力の向上をはじめ、不登校対策等の教育課題に有効な方法と受けとめています。昨今5・4制等のカリキュラム編成を実施している例もあるが、本町としては、今後、現状の教育課程6・3制を維持しつつ、先進地域の効果的な取り組みを研究し、できるところから進めていきたい。



質 問

高齢者緊急通報装置の

拡充・拡大について



植田いずみ

質 問

高齢化社会が進むなか、N T T以外の電話回線の利用者も増えてきています。

緊急通報装置の機種の多様化も含めた拡充・普及が必要です。

対象者の拡大については考えているとのことですが、早急な対応が必要ですがどのようなようにお考えでしょうか。

また、現在装置の保守点検はおこなわれていないとのことですが、緊急時につながらないことがないように保守点検の体制が必要と考えますので、この

ことについてもお聞きをしておきます。

答 弁

現時点では、N T T回線を利用し、N T Tの通報装置を使うことが安定性について保障されています。今後、他の通信事業者から同様の装置の販売があれば、検討したい。

また、携帯端末、所在確認などについては、予算等の検討の必要があることから、次年度以降の課題として検討させていただきたい。

また、対象者の拡大については、制度の趣旨からも高齢者世帯、身体障害者世帯、またこれに準ずる世帯などへの拡大を進めていき

ます。広報や民生児童委員、長寿会などへの周知を早急におこないます。

また、保守点検の体制については、緊急時に対応ができないということになれば、大変ですので、メンテナンスと併せて安否確認の意味からも必要と考えます。経費の関係もあることから、次年度以降の課題として検討していきたい。

その他の質問項目

- ① 乳がん検診の医療機関の拡充
- ② 前立腺がんの検診導入について



質 問

高齢者のスポーツ施設

利用料について



山田 仁樹

質 問

65歳以上のスポーツ施設利用料については20年4月より、全額減免から1/2減免となりました。減免優遇は健康保持、病氣防止、老化防止の目的の為に、財政状況が厳しい中、半額の負担を求め

る状況となっています。1年経過後、様々な弊害不公平部分も明らかになって来ましたが、高齢者福祉面から、老人クラブ活動費補助として長寿会文化クラブ27団体、スポーツクラブ4団体へそれぞれ

年間9500円の補助金を措置されています。長寿会文化クラブの活動は主に、かしの荘を中心とした活動であり、使用料は無料ですが、スポーツクラブは町施設の使用料が発生し会員会費でまかなうが、ゲートボールクラブなどは会員数の減少で運営も年々厳しい状況と聞いています。

長寿会スポーツクラブ4団体の施設利用料負担額状況は？高齢者福祉の観点から、暖かみのある施策の見直しをはかる必要があると考えるが町長はいかがお考えか？又、文化クラブとスポーツクラブでの使用料支払についての不公平部分についていかがお考えか？

答 弁

体育施設利用料状況は、ゲートボール54千円、グランドゴルフ114千円、ターゲットバードゴルフ89千円の年間負担となっています。ペタンクの施設利用申し込みはない。クラブ員の減少により運営が厳しく活動が縮小してきているクラブもあることは認識している。しかし、財政が非常に厳しい中受益者負担について今後も理解と協力を頂きたい。

スポーツクラブの個人の負担が多い事については、少し調査研究していきたい。



委員会活動状況

議会運営委員会

8月21日

案 件

①第6回定例会の議会運営について

8月28日

案 件

①平成21年度平群町一般会計補正予算
(第4号)の内容の一部変更について

議会改革特別委員会

8月10日、9月2日、28日、10月5日

案 件

①議会改革基本骨子の検討について

厚生委員会

8月27日

案 件

①水道使用料滞納者に対する取組状況について
②平群町中央公民館使用料の取り扱いについて

コミュニティバス特別委員会

8月26日

案 件

①コミュニティバス運行及び公共交通政策について

駅周辺整備事業特別委員会

9月1日

案 件

①駅周辺整備事業の進捗について

決算審査特別委員会

9月9日

案 件

①平成21年平群町議会第6回定例会付託議案に
ついて
「平成20年度平群町一般・特別会計決算の認定について」(委員長報告参照)

議 会 だ よ り

7月

21日・第5回臨時会

8月

3日・議員人権研修会

10日・議会改革特別委員会

11日・県町村議会議長会

会計監査

21日・議会運営委員会

西和消防組合議会

第2回定例会

24日・県町村議会議長県外

視察研修

於 宮城県

26日・コミュニティバス

特別委員会

27日・厚生委員会

28日・子ども模擬議会

9月

1日・駅周辺整備事業特別

委員会

2日・議会改革特別委員会

6日・郡総合防災訓練

8日・第6回定例会(初日)

9日・決算審査特別委員会

15日・本会議(一般質問)

18日・本会議(最終日)

28日・議会改革特別委員会

10月

5日・議会改革特別委員会

・議会だより編集委員
会14日・議会だより編集委員
会15日・議会改革特別委員会
視察研修

編 集 後 記

いよいよ明年は、平城
京誕生から1300年と
いう記念すべき年を迎え
ます。白虎の地である平
群町・信貴山の年末年始
カウントダウンより、平
城遷都祭のスタートが切
られます。

平城京は、わが国初の本格的な都で、日本の歴史上他に類をみないほどの国際交流都市として、大陸の文化と日本の文化を融合した天平文化が開花しました。

私たちは、この機会に、いにしえから記紀や万葉集に『たたみごも平群の山』と歌われた美しい自然環境と、歴史と文化が香る平群の素晴らしさを再認識し、この町を誇りに思い、魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

(運 記)